

平成31年度 国立障害者リハビリテーションセンター学院 手話通訳学科
シラバス（授業計画） 1年生（30期）

通訳基礎トレーニング 市田泰弘

授業回数 10回

授業目的 進め方	通訳者に必要な基本技能の熟達、とりわけ「他者の話を聞く能力」の向上をめざす。 スキーマ的理解の習慣づけのために、やや複雑な内容を理解し、その理解を可視化するトレーニングを行う。 課題について各自が調べて発表し、
-------------	---

回数	授業内容（予定）
1	リプロダクション①
2	リプロダクション②
3	リプロダクション③
4	サマライズ①
5	サマライズ②
6	サマライズ③
7	ダイアグラム分析①
8	ダイアグラム分析②
9	総合練習①
10	総合練習②

平成31年度 国立障害者リハビリテーションセンター学院 手話通訳学科
シラバス（授業計画） 1年生（30期）

講義名「通訳基礎トレーニング」 講師名：宮澤典子

授業回数 10回

授業目的 進め方	手話通訳を行うための基礎トレーニング方法を紹介する 基礎トレーニングをととして通訳プロセスを習得する
-------------	---

回数	授業内容（予定）
1	通訳基礎トレーニングの方法と目的
2	音読、論理的理解
3	音読、論理的理解
4	サマリー
5	サマリー
6	パラフレーズ
7	リプロダクション
8	資料読み込みとプレゼン（グループ）
9	資料読み込みとプレゼン（個人）
10	逐次通訳（イントラリンガル）

平成31年度 国立障害者リハビリテーションセンター学院 手話通訳学科
シラバス（授業計画） 1年生（30期）

日本語表現技術 吉田亜紀

授業回数 10回

授業目的 進め方	日本語表現技術を向上させるためのさまざまなトレーニングを行うとともに、自主練習のための方法を紹介する。
-------------	---

回数	授業内容（予定）
1	オリエンテーション
2	基礎①呼吸／姿勢
3	基礎②口の形／口の運動
4	基礎③表現技術
5	基礎④滑舌
6	応用①
7	応用②
8	応用③
9	応用④
10	まとめ

平成31年度 国立障害者リハビリテーションセンター学院 手話通訳学科
シラバス（授業計画） 1年生（30期）

翻訳 I 市田泰弘

授業回数 15回

授業目的 進め方	<p>日本手話から日本語への翻訳の技術を習得する。</p> <p>日本手話と日本語の言語構造の違いが大きい部分を特に取り上げ、構造の違いにもとづく翻訳の基本方針と具体的な技術について指導する。</p> <p>課題動画をもとに学生各自が翻訳したものをクラス全体に提示しながらコメントする形で進める。</p> <p>日本語が文脈依存型であり、文脈によって翻訳内容が大きく変わること留意する。</p>
-------------	---

回数	授業内容（予定）
1	使役構文①：動詞連続構文と使役構文の関係
2	使役構文②：Aわかる／かまわないB構文—A部の文型のバリエーション
3	使役構文③：Aわかる／かまわないB構文—A部に働きかけがないタイプ
4	使役構文④：Aわかる／かまわないB構文—受身の問題等
5	観察構文：前提部分の処理と行為の細密度への対応
6	発見構文①：時間の短さの含意
7	発見構文②：変化に気づくタイミングの処理
8	発見構文③：間接参加者のバリエーション
9	発見構文④：時間的順序の制約に関する翻訳技術
10	発見構文⑤：想起内容を伴う場合の焦点の選択
11	譲歩構文①：AよいB構文—A部への言及の要否について
12	譲歩構文②：AよいB構文—A部とB部の内容の関係のあり方と翻訳技術
13	譲歩構文③：AわかるB構文—A部で示された知識の間接性と翻訳技術
14	譲歩構文④：AわかるB構文—A部の真実性をめぐって
15	譲歩構文⑤：A思うB構文—A部への言及の要否について

令和1年度 国立障害者リハビリテーションセンター学院 手話通訳学科
シラバス（授業計画） 1年生（30期）

講義名「翻訳Ⅱ」 講師名：越後節子

授業回数 8回

授業目的	<p>説明力・説得力を身につけるのが目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな病気？（説明力） ・受けた方がよい治療法について（説得力） <p>相手は、日本手話が母語話者で、日本語に苦手意識をもつ50～60代ろう者を想定</p> <p>事前課題あり：1人3分以内にまとめる。（ビデオ収録）</p>
------	---

回数	授業内容（予定）
1	肝硬変
2	带状疱疹
3	メニエール病
4	エイズ
5	てんかん
6	パーキンソン病
7	パセドウ病
8	C型肝炎

平成31年度 国立障害者リハビリテーションセンター学院 手話通訳学科
シラバス（授業計画） 2年生（29期）

講義名「翻訳Ⅱ」 講師名：越後節子

授業回数 20回

授業目的 進め方	A: 宿題あり。日本手話に翻訳したものをビデオに収録。授業当日、全員でコメントを出し合う。 B: 『手話通訳レッスン』初心者コース6(医療編)。2回で1セット。イヤホン利用。 1回目は初聞き。2回目は復習の上、再チャレンジ。モデル通訳と比較検証。
-------------	---

回数	授業内容（予定）
1	A 流動性食道炎の症状
2	A 更年期障害の原因
3	A 統合失調症の症状
4	A ポリオ 概要
5	A 膀胱炎の治療
6	A 心筋梗塞 概要
7	A ヘルニアの原因
8	A 自閉症の治療
9	B 「腹痛の患者さんの検査結果について」（初聞き通訳、イヤホン利用、全員）
10	B 「腹痛の患者さんの検査結果について」（翻訳、同時、モデル検討）／復習
11	B 「血圧の薬について」（初聞き通訳、イヤホン利用、全員）
12	B 「血圧の薬について」（翻訳、同時、モデル検討）／復習
13	B 「食生活の指導について」（初聞き通訳、イヤホン利用、全員）
14	B 「食生活の指導について」（翻訳、同時、モデル検討）／復習
15	B 「ペースメーカーを使用する人へ」（初聞き通訳、イヤホン利用、全員）
16	B 「ペースメーカーを使用する人へ」（翻訳、同時、モデル検討）／復習
17	B 「入院にあたってのご案内」（初聞き通訳、イヤホン利用、全員）
18	B 「入院にあたってのご案内」（翻訳、同時、モデル検討）／復習
19	B 「脳栓塞後のリハビリ入院について」（初聞き通訳、イヤホン利用、全員）
20	B 「脳栓塞後のリハビリ入院について」（翻訳、同時、モデル検討）／復習

平成31年度 国立障害者リハビリテーションセンター学院 手話通訳学科
シラバス（授業計画） 1年生（30期）

講義名「翻訳Ⅱ」 講師名：河合祐三子

授業回数 8回

授業目的	<p>書記日本語から日本手話に翻訳し、それを相手に話し聞かせるトレーニング。 相手はろう児（小学低学年）を想定。</p> <p>事前課題あり：</p>
------	---

回数	授業内容（予定）
1	「ハエたち」（1）手話動画（翻訳）をみて検証
2	「ハエたち」（2）コメントを受けて再翻訳したもの（手話動画）を評価
3	「大きい魚と小さい魚」（1）手話動画（翻訳）をみて検証
4	「大きい魚と小さい魚」（2）コメントを受けて再翻訳したもの（手話動画）を評価
5	「塩をはこぶロバ」（1）手話動画（翻訳）をみて検証
6	「塩をはこぶロバ」（2）コメントを受けて再翻訳したもの（手話動画）を評価
7	「旅人とクマ」（1）手話動画（翻訳）をみて検証
8	「旅人とクマ」（2）コメントを受けて再翻訳したもの（手話動画）を評価

平成31年度 国立障害者リハビリテーションセンター学院 手話通訳学科
シラバス（授業計画） 2年生（29期）

講義名「翻訳Ⅱ」 講師名：河合祐三子

授業回数 20回

授業目的	<p>相手はろう児（小学低学年）を想定。 (1) 書記日本語から日本手話に翻訳し、それを相手に話し聞かせるトレーニング。 事前にビデオ収録しておくこと。 (2) 音声日本語から日本手話に通訳するトレーニング</p>
------	--

回数	授業内容（予定）
1	「どちらが子どもをよけい産むかで、ケンカするブタとイヌ」（1）手話動画（翻訳）をみて検証
2	「どちらが子どもをよけい産むかで、ケンカするブタとイヌ」（2）音声日本語→日本手話に通訳
3	「ガチョウとツル」（1）手話動画（翻訳）をみて検証
4	「ガチョウとツル」（2）音声日本語→日本手話に通訳
5	「小ガラスとハト」（1）手話動画（翻訳）をみて検証
6	「小ガラスとハト」（2）音声日本語→日本手話に通訳
7	「アリに刺された男とヘルメス」（1）手話動画（翻訳）をみて検証
8	「アリに刺された男とヘルメス」（2）音声日本語→日本手話に通訳
9	「ネズミとカエル」（1）手話動画（翻訳）をみて検証
10	「ネズミとカエル」（2）音声日本語→日本手話に通訳
11	「ネズミの会議」（1）手話動画（翻訳）をみて検証
12	「ネズミの会議」（2）音声日本語→日本手話に通訳
13	「腹のふくれたキツネ」（1）手話動画（翻訳）をみて検証
14	「腹のふくれたキツネ」（2）音声日本語→日本手話に通訳
15	「泥棒とニワトリ」（1）手話動画（翻訳）をみて検証
16	「泥棒とニワトリ」（2）音声日本語→日本手話に通訳
17	「片目のシカ」（1）手話動画（翻訳）をみて検証
18	「片目のシカ」（2）音声日本語→日本手話に通訳
19	「こうもりとイタチ」（1）手話動画（翻訳）をみて検証
20	「こうもりとイタチ」（2）音声日本語→日本手話に通訳

令和1年度 国立障害者リハビリテーションセンター学院 手話通訳学科
シラバス（授業計画） 1年生（30期）

講義名「翻訳Ⅱ」 講師名：数見陽子

授業回数 6回

授業目的	①書記日本語を日本手話に翻訳する ②聴文化（笑い）をどう翻訳するか 事前課題あり：原稿を前もって読み、授業ですぐに手話語りができるよう準備しておく
------	--

回数	授業内容（予定）
1	アハハの人達シリーズ「ふるさとの味？」
2	アハハの人達シリーズ「ナポリタンさん、あなたのおかげで・・・」
3	アハハの人達シリーズ「Fカップ・・・」
4	アハハの人達シリーズ「絶対にウソをつかない子に育てると決意するも・・・」
5	アハハの人達シリーズ「私のオッパイをこんなにしたのは、息子よ・・・」
6	アハハの人達シリーズ「あうんの呼吸って臭いものなんですね」

平成31年度 国立障害者リハビリテーションセンター学院 手話通訳学科
シラバス（授業計画） 2年生（29期）

翻訳Ⅱ 山岸信治先生

授業回数 7回

授業目的 進め方	A 4コマ漫画の内容（おかしところ）を手話に翻訳し、ビデオに収録する。授業でチェックを受ける。 B 自分で調べたことや、それに対する自分の意見を相手に納得してもらえるよう説明する力を身につける。説得的談話。3回。（うち1回は講義）
-------------	--

回数	授業内容（予定）
1	A 4コマ漫画「倒れない工夫」
2	A 4コマ漫画「独身のオトコ2人」 宿題あり（ビデオ収録）
3	A 4コマ漫画「まわりをよくみよう」 宿題あり（ビデオ収録）
4	A 4コマ漫画「ハエに乾杯」 宿題あり（ビデオ収録）
5	A 4コマ漫画「落書き」 宿題あり（ビデオ収録）
6	B 発表 下記タイトルから1つ選んで各3～5分発表（自分のコメントも） 1)ベル会館の建設と封鎖 2)高田書記長、衆議院予算委員会で公述、どんな影響を与えたか？（S50）
7	3)民放11条改正運動（大会決議、改正に向けての運動） 4)「アイラブコミュニケーション」運動がめざしたもの 5)国際障害者年とろう運動

令和元年度 国立障害者リハビリテーションセンター学院 手話通訳学科
シラバス（授業計画） 2年生（29期）

翻訳Ⅱ（ポエム・創作詩・詩の翻訳等） 庄崎隆志

授業回数 15回 55分×3グループ

授業目的 進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・手話ポエム、詞的な表現ができるようになる／手話の韻が踏めるようになる（3回で1セット） ・表現に幅を持たせる ・パフォーマンス通訳ができるための基礎トレーニング（日本語の作品を手話に翻訳する） <p>1回目:手話ポエムを暗唱する（授業中、自分の暗唱をビデオに収録し、後でチェックすること） 2回目:創作詩を発表する（授業中、発表作品をビデオに収録し、ダメ出しを受ける）</p> <p>芸術作品を日本手話に翻訳し、ビデオに収録する</p>
-------------	---

回数	授業内容（予定）
1	「お月様」モデルと同じように表現する（手話ポエムの暗唱）
2	月を題材にしたオリジナルの手話ポエムを発表する
3	「川は流れる」モデルと同じように表現する（手話ポエムの暗唱）
4	自然（海、山、川）を題材にしたオリジナルの手話ポエムを発表する
5	俳句を日本手話に翻訳する（2句）
6	「鳥」モデルと同じように表現する（手話ポエムの暗唱）
7	鳥・動物等を題材にしたオリジナルの手話ポエムを発表する
8	「ぬいぐるみ」モデルと同じように表現する（手話ポエムの暗唱）
9	ぬいぐるみ（人形も可）を題材にしたオリジナルの手話ポエムを発表する
10	詩「ふるさと」（室生犀星）を日本手話に翻訳する
11	ビデオ収録課題なし「私と小鳥と鈴と」事前に詩を読む。どう翻訳するかグループディスカッション。
12	ビデオ収録課題なし「北の海」事前に詩を読む。どう翻訳するかグループディスカッション。
13	ビデオ収録課題なし「ぼくがここに」事前に詩を読む。どう翻訳するかグループディスカッション。
14	ビデオ収録課題なし「雨ニモマケズ」事前に詩を読む。どう翻訳するかグループディスカッション。
15	上記4作品のうちから1つ、日本手話に翻訳したものをビデオに撮影しておき、授業で評価会を行う

平成31年度 国立障害者リハビリテーションセンター学院 手話通訳学科
シラバス（授業計画） 1年生（30期）

通訳 I 市田泰弘

授業回数 15回（2年次に27回）

授業目的 進め方	<p>日本手話から日本語への「読み取り通訳」の技術を習得する。 限られた話者のよく似た構造の談話を継続的に取り上げることによって、学生の課題を浮き彫りにし、その改善を図る。 動画を再生しながら通訳した内容を音声でアフターレコーディングし、その内容をもとにクラスで問題点を指摘し合う。 事後レポートでは、通訳内容を文字起こしし、問題点・改善点を整理した上で、「理想の通訳」を作成する。</p>
-------------	---

回数	授業内容（予定）
1	「いたずらシリーズ①」（初見）
2	「いたずらシリーズ②」（初見）
3	「いたずらシリーズ③」（初見）
4	「いたずらシリーズ④」（初見）
5	「いたずらシリーズ⑤」（初見）
6	「いたずらシリーズ⑥」（初見）
7	「いたずらシリーズ⑦」（初見）
8	「いたずらシリーズ⑧」（初見）
9	「いたずらシリーズ⑨」（初見）
10	「いたずらシリーズ⑩」（初見）
11	「いたずらシリーズ⑪」（初見）
12	「いたずらシリーズ⑫」（初見）
13	「いたずらシリーズ」（2回目）
14	「いたずらシリーズ」（2回目）
15	「いたずらシリーズ」（2回目）

平成31年度 国立障害者リハビリテーションセンター学院 手話通訳学科
シラバス（授業計画） 2年生（29期）

通訳 I 市田泰弘

授業回数 23回（1年次に15回実施）

授業目的 進め方	<p>日本語から日本語への「読み取り通訳」の技術を習得する。</p> <p>限られた話者のよく似た構造の談話を継続的に取り上げることによって、学生の課題を浮き彫りにし、その改善を図る。</p> <p>授業の進め方としては、動画を再生しながら通訳した内容を音声でアフターレコーディングし、その内容をもとにクラスで問題点を指摘し合う。事後レポートでは、通訳内容を文字起こしし、問題点・改善点を整理した上で、「理想の通訳」を作成する。</p>
-------------	--

回数	授業内容（予定）
16	「私の生き立ち①」
17	「私の生き立ち②」
18	「私の生き立ち③」
19	「私の生き立ち④」
20	「私の生き立ち⑤」
21	「私の生き立ち⑥」
22	「私の生き立ち⑦」
23	「私の生き立ち⑧」
24	「私の生き立ち⑨」
25	「私の生き立ち⑩」
26	「私の生き立ち⑪」
27	「私の生き立ち⑫」
28	「私の生き立ち⑬」
29	「私の生き立ち⑭」
30	「私の生き立ち⑮」
31	「私の生き立ち⑯」
32	「私の生き立ち⑰」
33	「私の生き立ち⑱」
34	「私の生き立ち⑲」
35	「私の生き立ち⑳」
36	「私の生き立ち㉑」
37	「私の生き立ち㉒」
38	「私の生き立ち㉓」

平成31年度 国立障害者リハビリテーションセンター学院 手話通訳学科
シラバス（授業計画） 1年生（30期）

講義名「通訳Ⅰ」 講師名：宮澤典子

授業回数 15回

授業目的	手話から日本語への翻訳通訳
------	---------------

回数	授業内容（予定）
1	手話から書記日本語への翻訳（私の家族）
2	手話から書記日本語への翻訳（私と次男の成長）
3	手話から書記日本語への翻訳（近所で火事）
4	手話から書記日本語への翻訳（近所の子水死）
5	手話から日本語への通訳（ネコ）
6	手話から日本語への通訳（映画）
7	手話から日本語への通訳（ロングヘア）
8	手話から日本語への通訳（風に飛ばされて大けが）
9	手話から日本語への通訳（インテ推進組・前半）
10	手話から日本語への通訳（インテ推進組・後半）
11	手話から日本語への通訳（コーダのホームサイン）
12	手話から日本語への通訳（足にケガ）
13	手話から日本語への通訳（豪華な温泉宿）
14	手話から日本語への通訳（長岡花火自慢）
15	手話から日本語への通訳 まとめ

平成31年度 国立障害者リハビリテーションセンター学院 手話通訳学科
シラバス（授業計画） 2年生（29期）

講義名「通訳 I」 講師名：宮澤典子

授業回数 25回

授業目的	手話から日本語への翻訳通訳 場面通訳
回数	授業内容（予定）
1	手話から日本語への通訳（インテの子：事前にタイトルを提示し冒頭部分を確認してから初見で通訳）
2	手話から日本語への通訳（山登り中の川遊び：事前にタイトルを提示し冒頭部分を確認してから初見で通訳）
3	手話から日本語への通訳（絵が好き：事前にタイトルを提示し冒頭部分を確認してから初見で通訳）
4	場面通訳（手話通訳 I 第10講座「パソコンの修理」）
5	手話から日本語への通訳（和裁学校へ：事前にタイトルを提示し冒頭部分を確認してから初見で通訳）
6	手話から日本語への通訳（身体障害者福祉法：事前にタイトルを提示し冒頭部分を確認してから初見で通訳）
7	手話から日本語への通訳（初めてのろう学校：事前にタイトルを提示し冒頭部分を確認してから初見で通訳）
8	場面通訳（手話通訳 I 第11講座「遺失届け」）
9	手話から日本語への通訳（ゲートボール前半：事前にタイトルを提示し情報を確認してから初見通訳）
10	手話から日本語への通訳（ゲートボール後半：前半の話題を踏まえて後半を初見通訳）
11	場面通訳（手話通訳 I 第13講座「キャンプ場の電話予約」）
12	手話から日本語への通訳（韓国旅行前半：事前にタイトルを提示し情報を確認してから初見通訳）
13	手話から日本語への通訳（韓国旅行後半：前半の話題を踏まえて後半を初見通訳）
14	手話から日本語への通訳（息子の心配前半：事前にタイトルを提示し情報を確認してから初見通訳）
15	手話から日本語への通訳（息子の心配後半：前半の話題を踏まえて後半を初見通訳）
16	場面通訳（手話通訳 II 第16講座「広報委員会」）
17	手話から日本語への通訳（寄宿舎の生活：事前にタイトルを提示し情報を確認してから初見通訳）
18	手話から日本語への通訳（寄宿舎の生活後半：前半の話題を踏まえて後半を初見通訳）
19	手話から日本語への通訳（米国で考えたこと：事前にタイトルを提示し情報を確認してから初見通訳）
20	手話から日本語への通訳（米国で考えたこと後半：前半の話題を踏まえて後半を初見通訳）

21	場面通訳（手話通訳Ⅱ第32講座「自治体の会議」）
22	手話から日本語への通訳（腎臓を大切にⅠ：事前資料を提示し通訳準備を行う）
23	手話から日本語への通訳（腎臓を大切にⅡ：事前準備をもとに2人組で初見通訳）
24	手話から日本語への通訳（腎臓を大切にⅢ：事前準備をもとに2人組で初見通訳）
25	手話から日本語への通訳のまとめ

平成31年度 国立障害者リハビリテーションセンター学院 手話通訳学科
シラバス（授業計画） 2年生（29期）

講義名「通訳Ⅰ」 講師名：性全 幸

授業回数 20回

授業目的	手話から書記日本語への要約と翻訳（統一試験対策）
------	--------------------------

回数	授業内容（予定）
1	手話通訳を目指す人たちの 読み取り学習用ビデオ ②－1
2	手話通訳を目指す人たちの 読み取り学習用ビデオ ②－2
3	手話通訳を目指す人たちの 読み取り学習用ビデオ ②－3 （宿題）
4	手話通訳を目指す人たちの 読み取り学習用ビデオ ③－1
5	手話通訳を目指す人たちの 読み取り学習用ビデオ ③－5
6	手話通訳を目指す人たちの 読み取り学習用ビデオ ②－4 （宿題）
7	手話通訳を目指す人たちの 読み取り学習用ビデオ ③－6
8	手話通訳を目指す人たちの 読み取り学習用ビデオ ③－7
9	手話通訳を目指す人たちの 読み取り学習用ビデオ ②－5 （宿題）
10	手話通訳を目指す人たちの 読み取り学習用ビデオ ③－2
11	手話通訳を目指す人たちの 読み取り学習用ビデオ ③－3
12	手話通訳を目指す人たちの 読み取り学習用ビデオ ②－6 （宿題）
13	平成24年度 手話通訳者統一試験実技問題（過去問題）
14	平成25年度 手話通訳者統一試験実技問題（過去問題）
15	手話通訳を目指す人たちの 読み取り学習用ビデオ ②－7 （宿題）
16	平成26年度 手話通訳者統一試験実技問題（過去問題）
17	平成27年度 手話通訳者統一試験実技問題（過去問題）
18	平成28年度 手話通訳者統一試験実技問題（過去問題）
19	平成29年度 手話通訳者統一試験実技問題（過去問題）
20	平成30年度 手話通訳者統一試験実技問題（過去問題）

平成31年度 国立障害者リハビリテーションセンター学院
シラバス（授業計画）2年生（29期）講義名「通訳Ⅱ（3グループ）」
講師名：野口岳史 授業回数：23回

授業目的	1000字の書記日本語を手話翻訳できる力を身につけさせることを目標とする。
------	---------------------------------------

	内容
1	【変わる大学入試】
2	
3	【オンラインショッピング急増で人手不足】
4	
5	【デング熱はどんな病気で感染するとどうなるの？】
6	【人と魚の不思議な関係】
7	【沖縄・普天間基地移設問題】
8	【常識とは】
9	【働き方改革は実現するか】
10	【東京五輪までに「ホームパーティー文化」は根付くか？】
11	
12	【マンデラ氏死亡 今こそ継承したい寛容の精神】
13	
14	【特別な金曜日】
15	
16	【迷走する豊洲市場移転問題】
17	【高齢者の定義は65歳から75歳へ】
18	
19	【マイナンバー】
20	【人生相談】
21	【プロスポーツ選手の活躍を陰で支える通訳という存在】
22	
23	

平成31年度 国立障害者リハビリテーションセンター学院 手話通訳学科
シラバス（授業計画） 2年生（29期）

講義名「通訳Ⅱ」 講師名：福光あずさ

授業回数 20回（金曜日コース）

授業目的 進め方	DVD「手話通訳レッスン」初心者コース7（災害編）利用。2回で1セット。1回目は初聞き。イヤホン利用（全員）。2回目は復習（練習）をした上で再チャレンジ。
-------------	---

回数	授業内容（予定）
1	「住宅用火災警報器」初聞き（全員）イヤホン利用
2	「住宅用火災警報器」再チャレンジ
3	「地震が起きたときには」初聞き（全員）イヤホン利用
4	「地震が起きたときには」再チャレンジ
5	「どんな津波だったのか」初聞き（全員）イヤホン利用
6	「どんな津波だったのか」再チャレンジ
7	「避難所生活できず」初聞き（全員）イヤホン利用
8	「避難所生活できず」再チャレンジ
9	「ボランティア」初聞き（全員）イヤホン利用
10	「ボランティア」再チャレンジ
11	おさらい（復習）
12	「計画的避難始まる」初聞き（全員）イヤホン利用
13	「計画的避難始まる」再チャレンジ
14	「放射線とは何？」初聞き（全員）イヤホン利用
15	「放射線とは何？」再チャレンジ
16	「遅すぎる説明」初聞き（全員）イヤホン利用
17	「遅すぎる説明」再チャレンジ
18	「手話通訳者等の派遣」初聞き（全員）イヤホン利用
19	「手話通訳者等の派遣」再チャレンジ
20	おさらい（復習）

平成31年度 国立障害者リハビリテーションセンター学院 手話通訳学科
シラバス（授業計画） 2年生（29期）

講義名「通訳Ⅱ」 講師名：海野和子

授業回数 19回

授業目的	A 相手にわかるように手話で説明する力を身につける。CL構文表出のトレーニング。
進め	B 海野先生のCLタイム
方	C 暗唱課題 手話のリズム（プロソディ）を身につける
	D 4コマ漫画を読んでない人に、その漫画のおもしろさを伝える

回数	授業内容（予定）	事前課題
1	A 説明的談話のトレーニング「失敗しない錦糸卵の作り方」	ビデオに収録
2	B 海野先生のCLタイム①	なし
3	A 説明的談話のトレーニング「エビの背わたと臭みの上手な取り方」	ビデオに収録
4	B 海野先生のCLタイム②	なし
5	A 説明的談話のトレーニング「しょうゆ（醤油）の染み抜き方法」	ビデオに収録
6	B 海野先生のCLタイム③	なし
7	C 暗唱課題「ネコ」 https://youtu.be/qt395FWv3Lc	ビデオに収録
8	A 説明的談話のトレーニング「検便における便の採り方」	ビデオに収録
9	B 海野先生のCLタイム④	なし
10	A 説明的談話のトレーニング「タクシー配車アプリ UberやGrabの使い方」	ビデオに収録
11	C 暗唱 ジョーク「スピード違反」 https://youtu.be/7VoCd4VbRGv	ビデオに収録
12	B 海野先生のCLタイム⑤	なし
13	A 説明的談話のトレーニング 「上手なホイップの作り方 流し用・塗り用・絞り用の3つ」	ビデオに収録
14	C ジョーク「人間愛のエベレスト」 https://youtu.be/WBZktEKaR5I	なし
15	B 海野先生のCLタイム⑤	なし
16	A 説明的談話のトレーニング 「自転車のタイヤのパンクを自分で修理する方法」	ビデオに収録
17	D 4コマ漫画（お題は当日発表）の面白さを伝える	なし
18	D 上の4コマ漫画のうち、1タイトルをビデオに収録し、ダメ出し	ビデオに収録
19	B 海野先生のCLタイム まとめ	なし

平成31年度 国立障害者リハビリテーションセンター学院 手話通訳学科
シラバス（授業計画） 2年生（29期）

講義名「通訳Ⅱ」 講師名：小林信恵

授業回数 25回

授業目的 進め方	前半：教材(手話通訳Ⅰ ポップステップアップ)を使用し、初聞きを行う。(音声日本語から日本手話への通訳) 自分やほかの学生の翻訳を評価し、スキルアップをはかる。再チャレンジ。 後半：手話通訳士試験過去問題にチャレンジ。初聞きを行う。(音声日本語から日本手話への通訳)モデル翻訳等と比較、分析を行なう。再チャレンジ。
回数	授業内容（予定）
1	第9講座 担任の先生が「保護者へあいさつ」をします
2	第9講座 担任の先生が「保護者へあいさつ」をします（2）
3	第16講座 中学校の入学式で来賓が祝辞を述べます
4	第16講座 中学校の入学式で来賓が祝辞を述べます（2）
5	第25講座 藤原さんが「避難所での子どもボランティアについて」話します
6	第25講座 藤原さんが「避難所での子どもボランティアについて」話します（2）
7	第26講座 「不在者投票について」の学習会です
8	第26講座 「不在者投票について」の学習会です（2）
9	第24講座 「住宅用警報器について」講演があります
10	第24講座 「住宅用警報器について」講演があります（2）
11	手話通訳士試験過去問題 第15回 声を掛け合う
12	手話通訳士試験過去問題 第15回 声を掛け合う（2）
13	手話通訳士試験過去問題 第15回 幾つになっても人間は向上する
14	手話通訳士試験過去問題 第15回 幾つになっても人間は向上する（2）
15	手話通訳士試験過去問題 第17回 愚痴をこぼさないプラス思考
16	手話通訳士試験過去問題 第17回 愚痴をこぼさないプラス思考（2）*
17	手話通訳士試験過去問題 第27回 銀行の閉店時刻
18	手話通訳士試験過去問題 第27回 銀行の閉店時刻（2）
19	手話通訳士試験過去問題 第27回 がん保険の相談窓口
20	手話通訳士試験過去問題 第27回 がん保険の相談窓口（2）
21	手話通訳士試験過去問題 第28回 テニスプレーヤー錦織選手の活躍
22	手話通訳士試験過去問題 第28回 テニスプレーヤー錦織選手の活躍（2）
23	手話通訳士試験過去問題 第28回 夜、足がつって困る
24	手話通訳士試験過去問題 第28回 夜、足がつって困る（2）
25	まとめ

平成31年度 国立障害者リハビリテーションセンター学院 手話通訳学科
シラバス（授業計画） 2年生（29期）

通訳Ⅱ 米内山昭枝先生

授業回数 12回（2コマ×10） 3グループ

授業目的 進め方	<p>①時事用語を事前に調べ、当日、手話で発表してもらう。発表時間は1人2～3分程度。情報収集力、分析力、プレゼン能力も含まれる。プレゼンする相手は日本語の不得手なろう者を想定。</p> <p>②時事ニュースに関する記事を前もって読み、記事内容を手話で翻訳する。1人あたり3分程度。ビデオに収録し、それをチェックしてもらう。</p>
-------------	--

回数	授業内容（予定）
1	①「ギルトフリー」
2	②「食べても罪悪感少なめ」。コンビニ食の潮流「ギルトフリー」って何だ より一部抜粋
3	③「IoT（モノのインターネット）」
4	④QRコード認識や音声機能を生かした倉庫内のピッキング作業支援
5	⑤「トリアージ」
6	⑥「治療優先度低い黒タグ「悔しい」 園児死亡事故でトリアージ」
7	⑦「SDGs」
8	⑧「SDGsテーマに 浜松で多国籍学生らキャンプ」
9	
10	
11	
12	

平成31年度 国立障害者リハビリテーションセンター学院 手話通訳学科
シラバス（授業計画） 2年生（29期）

講義名「通訳Ⅱ」 講師名：小野寺善子

授業回数 26回

授業目的 進め方	<p>手話通訳士試験・統一試験対策</p> <p>A : DVD「手話通訳レッスン」初心者コース9(相談編) 利用。2回で1セット。1回目は初聞き。イヤホン利用（全員）。2回目は復習（練習）をした上で再チャレンジ。</p> <p>B DVD「手話通訳レッスン」初心者コース4(気になる話題) 利用。2回で1セット。1回目は初聞き。イヤホン利用（全員）。2回目は復習（練習）をした上で再チャレンジ。</p> <p>※いずれも通訳モデル動画あり（宮澤先生）</p>
-------------	--

回数	授業内容（予定）
1	B DVD「ダイエットを成功させるための基本的心構え」 イヤホンを使って初聞き（全員）
2	B DVD「ダイエットを成功させるための基本的心構え」 再チャレンジ
3	A DVD「『断捨離』する」 イヤホンを使って初聞き（全員）
4	A DVD「『断捨離』する」 再チャレンジ
5	B DVD「エコライフ」 イヤホンを使って初聞き（全員）
6	B DVD「エコライフ」 再チャレンジ
7	A DVD「子どものインターネット利用」 イヤホンを使って初聞き（全員）
8	A DVD「子どものインターネット利用」 再チャレンジ
9	B DVD「新しいタイプの栄養失調」 イヤホンを使って初聞き（全員）
10	B DVD「新しいタイプの栄養失調」 再チャレンジ
11	A DVD「介護の相談」 イヤホンを使って初聞き（全員）
12	A DVD「介護の相談」 再チャレンジ
13	B DVD「老老介護」 イヤホンを使って初聞き（全員）

14	B DVD「老老介護」再チャレンジ
15	A DVD「年金の相談」イヤホンを使って初聞き（全員）
16	A DVD「年金の相談」再チャレンジ
17	B DVD「お見舞いの品を考える」イヤホンを使って初聞き（全員）
18	B DVD「お見舞いの品を考える」再チャレンジ
19	A DVD「いじめの相談」イヤホンを使って初聞き（全員）
20	A DVD「いじめの相談」再チャレンジ
21	B DVD「インターネットをするときはウイルスに注意」イヤホンを使って初聞き（全員）
22	B DVD「インターネットをするときはウイルスに注意」再チャレンジ
23	A DVD「近隣のトラブル」イヤホンを使って初聞き（全員）
24	A DVD「近隣のトラブル」再チャレンジ
25	B DVD「身に覚えのない請求のメールが届いたら」イヤホンを使って初聞き（全員）
26	B DVD「身に覚えのない請求のメールが届いたら」再チャレンジ

平成31年度 国立障害者リハビリテーションセンター学院 手話通訳学科
シラバス（授業計画） 2年生（29期）

講義名「通訳Ⅱ」 講師名：数見陽子

授業回数 4回

授業目的 進め方	①書記日本語を日本手話に翻訳する ②聴文化（笑い）をどう翻訳するか 宿題あり：原稿を前もって読み、授業ですぐに手話語りができるよう準備しておく
-------------	--

回数	授業内容（予定）
1	アハハの人達シリーズ「カツラが……」
2	アハハの人達シリーズ「職業病……」
3	アハハの人達シリーズ「使用後も計画的に……」
4	アハハの人達シリーズ「レレレのおじさん？」

平成31年度 国立障害者リハビリテーションセンター学院 手話通訳学科
シラバス（授業計画） 2年生（29期）

講義名「通訳Ⅱ」 講師名：山岸義夫

授業回数 7回

授業目的 進め方	戦後の大きな事件の概要をわかりやすくろう者に説明する力を身につける。 （調べる力、わかったことをまとめる力、説明する力） 事前にビデオに収録（3～5分をめやすに）。当日、視聴し、先生からコメントをもらう。
-------------	--

回数	授業内容（予定）
1	蛇の目寿司事件（1965年・昭和40年）
2	黒い霧事件（日本プロ野球）（1969-1971年・昭和44-46年）
3	よど号ハイジャック事件（1970年・昭和45年）
4	浅間山荘事件（1972年・昭和47年）
5	ロッキード事件（1976年・昭和51年）
6	グリコ・森永事件（1984年・昭和59年）
7	地下鉄サリン事件（1995年・平成7年）

平成31年度 国立障害者リハビリテーションセンター学院 手話通訳学科
シラバス（授業計画） 2年生（29期）

講義名「通訳Ⅱ」 講師名：澤田利江

授業回数 15回

授業目的 進め方	<ul style="list-style-type: none"> ●さまざまな場面における「相談」と「回答」。 初聞き（イヤホン利用）→ダメ出し ・相談内容を相手に伝えられるか／相談内容に対する回答を相手に伝えられるか（気持ち、立場、意図、目的、期待等） ロールプレイ的に行なう（2人いる場合） A 学生が相談者になりきってテキスト（相談内容）を読み、別の学生が通訳する B 学生が回答者になりきってテキスト（回答内容）を読み、別の学生が通訳する（読みを担当する学生は、一年次に受けたヴォイストレーニングを意識すること！） <ul style="list-style-type: none"> ●読者投稿 初聞き（イヤホン利用）→ダメ出し
-------------	--

回数	授業内容（予定）
1	A 相談内容 「気が短くてすぐ腹立てる」
2	B 回答 → 相談内容 「気が短くてすぐ腹立てる」
3	「うっかりプロポーズしてしまった！」
4	A 相談内容 「静かな場所で、おなら心配」
5	B 回答 → 相談内容 「静かな場所で、おなら心配」
6	「何とか結婚出来ないのでしょうか」
7	A 相談内容 「過去の罪に苦しむ60代主婦」
8	B 回答 → 相談内容 「過去の罪に苦しむ60代主婦」
9	「外国人観光客をどよめかせてしまいました」
10	A 相談内容 「夜中に金縛り 安眠できない」
11	B 回答 → 相談内容 「夜中に金縛り 安眠できない」
12	「楽しい遠足なのに、笑顔で送り出せなかったバカ親なわたし」
13	A 相談内容 「不妊症で自信が持てない」
14	B 回答 → 相談内容 「不妊症で自信が持てない」

15

「お母さんにしてくれてありがとう」

平成31年度 国立障害者リハビリテーションセンター学院 手話通訳学科
シラバス（授業計画） 2年生（29期）

通訳Ⅱ 下城先生

授業回数 10回

授業目的 進め方	A 初聞きで通訳の練習をする。ビデオに収録。 B 事前課題：翻訳課題をビデオに収録。
-------------	---

回数	授業内容（予定）
1	A 「食後の口すずき」（教材2002年作成）
2	B 「現代のいじめ問題にメスを入れる！ ネットいじめから子どもたちを守るには」
3	A 「血行不良や不規則な生活で一過性のむくみが生じる」（教材2002年作成）
4	B 「スキミングの手口」
5	A 「突然死を防ぐ」（教材2002年作成）
6	B 「うんちは何でできているか？」
7	A 「成績向上に朝食」（教材2002年作成）
8	B 「SIDSとは？」
9	A 「カツオを見逃すな」（教材2002年作成）
10	B 「善玉菌と悪玉菌がしのぎを削る」

平成31年度 国立障害者リハビリテーションセンター学院 手話通訳学科
シラバス（授業計画） 2年生（29期）

講義名「通訳Ⅲ」 講師名：宮澤典子

授業回数 15回（模擬通訳2コマ+フィードバック1コマ）

授業目的	さまざまな領域・場面における模擬通訳をとおして通訳実践力を習得する。 模擬通訳後のフィードバックをとおして通訳実践力を習得する。
------	---

回数	授業内容（予定）
1	講演会の通訳（過程別：準備～打ち合わせ～通訳開始・実施～通訳終了）
2	講演会の通訳（自治体主催セミナー）
3	講演会の通訳（クリニック主催健康講座）
4	ワークショップの通訳（クリニック主催母親教室）
5	会議の通訳（自治会）
6	講演会の通訳（手話サークル主催講演会）
7	式典の通訳（カメラ店主催表彰式）
8	ワークショップの通訳（手芸店主催イレイサースタンプ作り）
9	会議の通訳
10	会議の通訳
11	会議の通訳
12	グループワークの通訳
13	グループワークの通訳
14	講演会の通訳

15	講演会・シンポジウムの通訳
----	---------------

平成31年度 国立障害者リハビリテーションセンター学院 手話通訳学科
シラバス（授業計画） 2年生（29期）

講義名「通訳Ⅲ」 講師名：越後節子・性全 幸

授業回数 12回

授業目的 進め方	模擬通訳（講義通訳・場面通訳）の2つにわけて実施。
-------------	---------------------------

回数	授業内容（予定）
1	講義（講演）通訳（現代社会）
2	講義（講演）通訳（現代社会）
3	講義（講演）通訳（現代社会）
4	講義（講演）通訳（現代社会）
5	講義（講演）通訳（現代社会）
6	講義（講演）通訳（現代社会）
7	講義（講演）通訳（現代社会）
8	まとめ
9	場面通訳（個人）
10	場面通訳（個人）
11	場面通訳（個人）
12	講義通訳（大学）

平成31年度 国立障害者リハビリテーションセンター学院 手話通訳学科
シラバス（授業計画） 2年生（29期）

講義名「通訳Ⅲ」 講師名：小林信恵・蓮池通子

授業回数 13回

授業目的 進め方	模擬通訳を行なう。（場面通訳：個人）
-------------	--------------------

回数	授業内容（予定）
1	大学（ディスカッション場面）
2	医療場面（未定）
3	医療場面（未定）
4	医療場面（未定）
5	就労関係（入社面接）
6	就労関係（評価面談）
7	教育場面（小学校での家庭訪問）
8	教育場面（中学2年生時の3者面談）
9	講義（講演）通訳 舞台 スライド投影なし
10	講義（講演）通訳 対面 スライド投影なし
11	講義（講演）通訳 舞台 事前資料なし
12	講義（講演）通訳 対面 配布資料なし
13	まとめ

平成31年度 国立障害者リハビリテーションセンター学院 手話通訳学科
シラバス（授業計画） 2年生（29期）

講義名「通訳Ⅲ」 講師名：真下京子

授業回数 15回

授業目的	通訳は相互の意思伝達が困難な人々間のコミュニケーションを仲介する行為であり、実際の通訳場面では両者の意見や立場を知り得る唯一の人として通訳者は重要な役割を担う。様々な通訳場面における手話通訳者の役割、手話通訳実施上の留意点等について事例検討・集団討議・ロールプレイングを行い、その通訳技術を習得する。
------	--

回数	授業内容（予定）
1	手話通訳実践技術とは
2	手話通訳実践技術の具体例（医療場面）
3	手話通訳実践技術の具体例（電話通訳場面）
4	手話通訳実践技術の具体例（保護者会）
5	手話通訳実践技術の具体例（労働場面）
6	医療における手話通訳（医療手話通訳の実際）
7	手話通訳実践技術の具体例（政見放送手話通訳理論）
8	手話通訳実践技術の具体例（政見放送手話通訳実践）
9	手話通訳実践技術の具体例（会議通訳：福祉団体懇談会）
10	手話通訳実践技術の具体例（保護者個人面談通訳場面）
11	手話通訳実践技術の具体例（司法場面）〔特別講師〕
12	手話通訳実践技術の具体例（集会での通訳場面）
13	手話通訳のあり方を考える〔特別講師〕
14	手話通訳実践技術の具体例（講演会読み取り通訳場面）

15	手話通訳実践技術の具体例（結婚式の通訳）
----	----------------------